



小松ロータリークラブ会報

■会長：中川 公三 ■幹事：嶋田俊一郎 ■副会長：西沢 耕一 ■会長エレクト：中橋 勝美

2012～2013年度 国際ロータリーテーマ

奉仕を通じて平和を

Peace Through Service

小松ロータリークラブ創立30周年 秋晴れの小松市民センターで記念式典を挙行 慎重な積み重ねの上に多彩な企画を実施

台風20号の直撃があるかも知れないと心配された1985年10月6日、祈りが天に通じたものか進路が逸れ、フェーン現象の風が残る中、爽やかな秋空が覗き、午前10時から参集した会員一同、安堵と喜びのうちに、小松市民センターにおいて、厳粛なるも盛大に創立30周年記念式典が挙行された。この日、櫻井地区ガバナーを初め、中西石川県知



徳田創立30周年記念大会長の式辞

事・竹田小松市長・山上小松商工会議所副会長・柴田小松RC創立特別協力者、また、スポンサーである金沢RCや遠路遙々の姉妹関係にある蒲郡RCからの友情参加も含め、来賓・ロータリアン総数291名が出席。

午後1時、山上会長の開会点鐘。中谷実行委員長の開会の言葉、ピアノ伴奏による“君が代”と“奉仕の理想”の斉唱、創立25周年以降に物故者

となられた室谷・西本・辻3会員への追悼、来賓紹介、来訪RC紹介の後、チャーターメンバーであり最古参の徳田大会長の流石と感服する格調高い式辞、山上会長の心からなる歓迎の言葉と、式典は佳境へ進む。

創立30周年記念のハイライトとして、谷口記念事業委員長から記念事業が発表され、県市への寄贈目録贈呈と、県市からの感謝状拝受。ブロンズ像制作者谷口先生や創立25周年以降のクラブ運営に尽力された上杉・吉田・金津・半田・谷口・竹田・黄木・市田・丸山・岩谷の歴代会長幹事への感謝状贈呈。これら感謝状贈呈の介添役として湯浅・金戸会員のお嬢さんが艶やかな振り袖姿で式典に花を添える。続いて、桜井ガバナー・中西知事（遅参）代理・竹田市長・山上副会頭・柴田特



桜井地区ガバナーからの祝辞

記念行事の展開経過

一流れと苦心を振り返る一

小松RC創立30周年記念の実施について、歴代会長幹事を中心とする準備委員会がスタートしたのは既に1983年度、1985年10月6日への式典日程の設定も早々と地区関係の調整を経た1984年9月中。そして、準備委員会を中心に各種の摸索や企画の検討が重ねられ、職務分担委員会組織が理事会承認を見たのは1980年2月15日。以後、各部門分担委員会による実施計画の積み上げがあり、部門委員長で構成される実行委員会での調整により

予算大綱が確定したのは1985年8月。そのころから、各部門分担委員会の計画実施も、既に見込の上に先行していたとはいえ、予算の裏打ちを得て



永井元文部大臣の講演に聞き入る聴衆

小松ロータリークラブ 月報 (1985年10月号)

小松ロータリークラブ あの日あの時

創立30周年記念特集



事務局 〒923-0957 石川県小松市本折町33 小松グランドホテル2F
TEL.0761-24-1340・FAX.0761-24-4700
E-mail:office@komatsu-rc.jp URL:http://komatsu-rc.jp/
クラブ会報委員会〈委員長〉数左 従光〈委員〉斉藤 浩・道上 宗雅

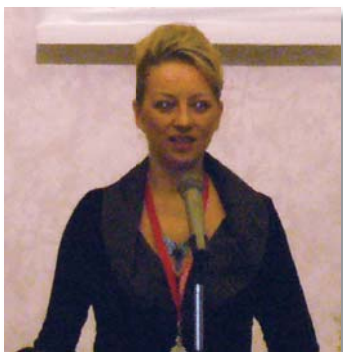
会長挨拶・報告 中川 公三

先週の節分例会、大勢の会員の皆さんに参加をいただき、豆まきで沢山の福が当クラブに入り込んだものと確信致します。

さて、源流セミナーの続きをしたいと思います。「I serve」、「We serve」の違いの話です。ライオンズクラブとロータリークラブの違いを、新入会員を勧誘するときにどう説明しますかという話です。ライオンズクラブは歴史的に1917年、テキサスRCのメルビン・ジョーンズ氏がロータリークラブを退会し、約20名で創立しました。理念的には先ず、事業で利潤を得てその一部を社会に奉仕する精神だと思われまます。詳しいことはわかりませんが、クラブ単位の社会奉仕を第一義としている様です。これが彼らの叫ぶところの「We serve」だと思います。然るに、我がロータリークラブはどうでしょうか。それにはロータリークラブの歴史と哲学が関与しています。ロータリークラブの根源を為す二つのモットーがあります。それは超我の奉仕「service above self」と最も良く奉仕するものは、最も多く報われる「He profits most who serves best」であります。第一にこの理念（二つのモットー）のもと、ロータリアンは四つのテストにのっとり、自らの事業を全うして、職業奉仕をする。第二に職業奉仕に基づいて自己研鑽し、個々の力を奉仕に動員してクラブ単位の社会奉仕をする。このクラブ単位の奉仕はいわゆる「We serve」であります。しかし、ロータリーにおけるこの社会奉仕はクラブ単位で完結する様なものでなく、より大きな集団的な奉仕、例えばポリオ撲滅運動におけるWHOとの協同事業とか、当クラブで言えば、県と協力しての木場潟の環境保全事業などであります。第三にその事業に対して、職業奉仕に基づいたロータリアンが個々の力を発揮して超我の奉仕を続けていく。これが「I serve」なのです。即ち、ロータリーにおける「We serve」は、クラブを超えた個々のロータリアンの超我の奉仕、「I serve」結果であるということです。それ故、ロータリークラブは「I serve」なのです。次の機会に二つのモットーについて話したいと思います。

卓話

「昔のロシアから今のロシアへの移り変わり」



バイオリニスト シェペレヴァ・エリカ 様

(紹介者) 松多 伸悟 会員

例会報告

★2月7日(木)〈例会〉 於：小松グランドホテル

・会員数 61名 ・出席数 48名 ・欠席数 13名 ・出席率 78.69%

★メイクアップ届

・2/2 地区ロータリー財団補助金管理セミナー 湯浅外志男、堀、西、杉本、中橋

ニコニコBOX ☺

中川 公三

シュペレヴァ・エリカ様、卓話有難うございました。素晴らしいバイオリンの演奏有難うございました。

嶋田俊一郎

エリカさん、卓話有難うございました。また、素晴らしいバイオリンも聞き惚れました。是非、10月の地区大会でも出演して下さい。今後のご活躍をお祈りしています。

松多 伸悟

エリカさん、本日はお忙しい中、卓話有難うございます。いつ聞いてもエリカさんのバイオリンの演奏は、素晴らしいと思います。これからも、お体に気をつけて頑張ってください。

小林 朋子

素晴らしい演奏、お話を有難うございました。イルクーツク、ハバロフスク、シュレホフ、バイカル湖など、カメラマンとして訪問したことを思い出しました。有難うございました。

蓮井 正亮

湯浅さん、米国でのガバナー研修会への出席はご苦労さまでした。なかなかハードだったそうですね。一度卓話をお願い致します。

7回目の年男をどうにか努めることが出来ました。有難うございます。年齢相応の病もいくつか抱えていますから、8種類の薬を朝飲んで体調をととのえてから、RCへ出席したり、息子の診療をチヨット助けたり、TVの「なんでも鑑定団」を見て笑ったり、上杉先生の「聴聞のかなめ」を読んだりして、夜8時にはもうベッドの中へ入る毎日です。

会長挨拶・報告 中川 公三

昨日、ローターアクトの例会で卓話をしてきました。卓話と言っても聴衆は3人でした。気が抜けましたが、何とか会員を増やす工夫はないでしょうか。

それでは今日は源流セミナーの続きをしたいと思います。ロータリー motto として二つの奉仕理念があります。一つは社会奉仕の理念としての「service above self」。もう一つは職業奉仕の理念としての「He profits most who serves best」であります。本日は超我の奉仕、「Service above self」の歴史と意義についてお話したいと思います。

1911年、フランク・コリンズが最初に「service not self」という言葉で表現しています。その演説の中で自分の利益が得られると思ってロータリークラブに入ってくる人たちは、真のロータリアンでなく、会員同士の相互扶助を超えて、ロータリアン以外の人たちにサービスをあげていくことの意味に使われました。だからこれは職業奉仕的に使われています。

1915年頃、「service above self」と変化しているのですが、この辺の事情ははっきりしていません。しかし、同じように職業奉仕的な意味を持っていました。1927年に四大奉仕の概念が確立しました。すなわち、職業奉仕、社会奉仕、クラブ奉仕、国際奉仕であります。1937年ニースの国際大会で奉仕の理想の意味を『他人ことを思いやり、他人のために尽す』と定義されました。1954年頃より、ロータリー運動はロータリー会員のためでなく、人類全体のためと変化しました。すなわち、奉仕の理想が職業奉仕から社会奉仕に変化したわけです。現在では超我の奉仕は他人のことを思いやり、他人のために尽すという社会奉仕、世界社会奉仕を推奨する motto となっています。次の機会には「He profits most who serves best」のお話をしたいと思います。

卓話

「石川の観光」

石川県観光交流局次長
新幹線開業PR推進室次長
北村 修 様



新幹線金沢開業まで2年余りとなった。県ではその開業効果を加賀能登へしっかりとつなげていくことが最も大切なことであると思っている。これを達成するためには、県だけでなく市町や経済・観光関係者、そして県民の方々それぞれの意識の向上と行動が必要である。本日のお話が、小松市のリーダーである皆様の新たな一歩の参考となれば幸いである。

●観光の意義

- ①観光は格調高い言葉
～観光の語源～「国の光を観る。もって王に賓たるに利あり」（易経）
- ②観光は人口減少時代の切り札
～定住人口の減少は交流人口の拡大でカバー
- ③観光は生産波及効果が高い
～観光は裾野の広い産業
- ④観光は平和産業。「いきがい」にも奉仕

●石川県は観光立県

- ①中部地域で初めて観光に特化した部局を設置（H17）
- ②さまざまな指標で上位にランキング
（政府登録ホテル旅館数、観光度指数、飲食店宿泊業割合）

●観光入込の状況

- ①本県への入り込みの推移
・近年の県全体の入り込みは、約2000万人で推移。加賀地域の入り込みは、県全体の約1/4で推移し、平成23年は538万人であった。

②平成23年の入り込み

- ・平成23年は、東日本大震災の影響により大きく落ち込んだが、観光需要の早期回復に努めた結果、通年では対前年比▲2.6%の2098万5千人にとどまった。

③海外からの入り込み

- ・海外からの観光客は震災による風評被害や円高等の要因から大きく減少し、対前年比▲36.8%の10万7千人となった。

●北陸新幹線の金沢開業に向けて

①首都圏誘客500万人構想

- ・北陸新幹線金沢開業後の開業後、首都圏のエリア人口に対する入込客の比率を、関西・中京圏並みに引き上げることで、首都圏からの誘客500万人を目指す。

◎H21:227万人（5.5%）→H27:500万人（12.2%）

※（カッコ）内はエリア人口に対する入り込み客数の比率



◆紹介者
八十山和代 会員

②北陸新幹線開業PR戦略実行プラン

- ・北陸新幹線の金沢開業を見据え、この3月に首都圏に向けた誘客戦略（北陸新幹線開業PR戦略実行プラン）を策定する。
- ・今後、「いしかわ百万石物語」をキャッチコピーに、首都圏に向けた様々な開業PRを実行し、金沢開業の認知度向上を目指す。
- ・県や市町により、総額120億円規模の「新幹線開業PRファンド」を創設し、運用益を取り組みの財源として活用する。

③海外誘客10倍増構想

- ・海外からの誘客については、国や地域ごとの特色やターゲットを絞った誘客活動に取り組むことで、平成27年に50万人を目指す。
- ◎外国人宿泊者数 H15:5万人→H27:50万人（10倍増）

④産業観光の推進

- ・南加賀地域はモノづくりが盛んであり、工場見学や伝統産業体験をはじめとした産業観光にも積極的に取り組んでいる。
- ・11月には「全国産業観光フォーラム in こまつ」の開催を予定しており、全国から約1000人の関係者が参加する。
- ・本フォーラムを契機に、県内全域で産業観光の機運を盛り上げていくことが課題。

例会報告

★2月14日(木)〈例会〉 於：小松グランドホテル
 ・会員数 61名 ・出席数 39名 ・欠席数 22名 ・出席率 63.93%

★メイクアップ届

- ・2/7 第9回地区副幹事会 湯浅外志男、堀、中西、西、野尻、澤矢、寺田、嶋田、川腰、上出、杉本、福島、斉藤
- ・2/7 第1回予定者理事会・第1回地区大会実行委員会 中橋、蓮井正樹、原後、数左、嶋田、中田、小林幹雄、大西、本村、那谷、川腰、八十山、谷内、松多、堀、塚本、寺田、斉藤、湯浅外志男、中西、杉本、野尻、橋浦
- ・2/9 第3回地区財務・監査合同委員会 湯浅外志男、堀、西
- ・2/9 第2回諮問委員会 湯浅外志男、堀、中西、西
- ・2/12 第8回ミニフォーラム 本村、原後、上出、小林幹雄、岡田、大西、新滝、山本
- ・2/12 ロータリー財団ゾーンチーム会議 湯浅外志男



中川 公三

北村様、卓話有難うございました。小松の観光を宜しくお願い致します。今日はバレンタインデー、いまだチョコレートはゼロです。大ニコは出しません。

嶋田俊一郎

北村様、お忙しい中、卓話をいただき有難うございました。小松地区の誘客も宜しくお願い致します。

八十山和代

北村さん、本日はお忙しい所、貴重な卓話をして下さり、本当に有難うございます。1996年の県庁アボなしで対応して下さい、ご縁をいただき、私の海外展におきまして、何度も後援をいただき感謝しています。素晴らしい兄貴分として尊敬しています。

石川第二分区 都市連合会 (IM) 2013年2月17日

於：加賀市「長生殿」

★ 都市連合会 (IM)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 開会点鐘 | 石川第二分区ガバナー補佐・・・三輪 邦彦 |
| 2. 国歌斉唱「君が代」 | |
| 3. ロータリーソング「奉仕の理想」 | |
| 4. 開会挨拶・特別出席者紹介 | IM実行委員長・・・・・・・・・・滝野 徹 |
| 5. ガバナー補佐挨拶 | 石川第二分区ガバナー補佐・・・三輪 邦彦 |
| 6. 会長挨拶 | 加賀中央RC会長・・・・・・・・・・中蔵 一 |
| 7. 閉会点鐘 | 石川第二分区ガバナー補佐・・・三輪 邦彦 |



★ 基調講演 「際化と日本人」

第2610地区ガバナー 中尾 哲雄 (富山西RC)

★ フォーラム 「クラブの国際交流の現況と問題点」

コーディネーター 石川第二分区ガバナー補佐 三輪 邦彦

- ・石川第二分区8RC各代表の発表
- ・質疑応答
- ・総括発表

第2610地区ガバナー・・・中尾 哲雄

- ・次期ガバナー補佐挨拶
- ・閉会挨拶

山中RC・・・倉山 浩
IM実行委員長・・・滝野 徹

★ 昼食会

司会：杉山 一夫・矢野信幸 IM実行幹事

歓迎の舞 「山中節」

〈会場〉まる重 3階「平成の間」

例会報告

★ 2月17日(木) 〈石川第二分区 都市連合会 (IM) 〉 於：加賀市「長生殿」
・会員数 61名 ・出席数 36名 ・欠席数 25名 ・出席率 59.02%

2809回 2013年2月28日 例会

於：小松グランドホテル

副会長挨拶・報告 西沢 耕一



本日は、中川会長の代理として挨拶をさせていただきます。初めて点鐘をたたいたら、大変気持ち良かったです。イイ音がするものですね。

今日は、良い天気とりのりで小春日和です。冬が長かったように感じますが、寒い日が続きました。明日は3月1日、いよいよ春を迎えて、特に今年は心待ちにしていたように思いますが、皆さんはどのようでしょうか。本日は、会長の代役で壇上に登った事が大変良い経験になりましたことをご報告申し上げます。

★ 入会式 「新会員紹介」

〈新入会員〉 道上 とりのり 宗雅 様

生年月日：1973年12月28日生
職業分類：新聞
会社名：北國新聞社小松支社
石川南地区代表 兼 小松支社長
事業所：小松市園町91-1 〒923-0801



〈推薦者〉 中西 忠彦 会員 中川 公三 会員

卓話

「ぼけてからも、かわいがられる法」

芳珠記念病院 小児科
副院長

多賀 千之様



◆ 紹介者
塚本幹雄
会員

芳珠記念病院にはたくさんのご老人が入院しておられます。認知症をお持ちの方々の中でも、職員に可愛がられる方がいらっしゃいます。それは“ありがとう”を言われる方です。自分が認知症になった後、嫌味を言い続けて、介護者に疎まれ、介護者に精神的負担を残す“人生の最期”を送りたくないものです。そのためには認知症になっても無意識に“ありがとう”と言えるようになっていくことが大切です。つまり、認知症になる前から、“ありがとう”の練習をしておくことです。

世界中で最も大切な言葉は“ありがとう”だと思います。“ありがとう”という言葉には、不思議な力が宿っています。私はこれを『ありがとうの7原則』と呼んでいます。①「ありがとうには人を動かす力がある」②「ありがとうとすみませんは違う」③「ありがとうは後出しでも効果ある」④「ありがとうにはハードルがある」⑤「ありがとうは伝染する」⑥「ありがとうは言われるのも言うのも嬉しい」⑦「ありがとうのハードルは一端下げると上がらない」

同じ内容のことをしてもらっても、ありがとうと言う時・相手と言わない時・相手がある、これを“ありがとうのハードル”と言います。多くの人が、家族、特に配偶者に対して“ありがとうのハードル”を最も高くして、ありがとうを言わずに生活しています。自分の人生で最も大切な人に対して最もありがとうを言っていない、不思議ですよ。

そこで今日から1週間、『ありがとう週間』として“ありがとう”を無理矢理にたくさん言ってみましょう。気持ちがこもっているかどうかは問いません。とにかく、この1週間にたくさんの“ありがとう”を言います。わざと何かをもらって、“ありがとう”を言うのでも構いません。自分自身が何か変わり、自分の周りに何かを気付くことができるでしょう。

例会報告

★ 2月28日(木)〈例会〉 於：小松グランドホテル
・会員数 62名 ・出席数 43名 ・欠席数 19名 ・出席率 69.35%

★メークアップ届

・2/13 小松PAC 中川 ・2/14 2月定例理事会 中川、中橋、嶋田、本村、中西、八十山、谷内、堀
・2/23 2013年3月米山奨学期間修了者歓送会 湯浅外志男、蓮井正樹

ニコニコBOX☺

西沢 耕一

今日は、中川会長の代理として貴重な経験をしました。点鐘の力加減難しかったです。

嶋田俊一郎

多賀先生、お忙しい中、卓話いただき有難うございました。ありがとうのハードルを下げたいと思います。

蓮井 正樹

多賀先生、楽しい話を有難うございました。

八十山和代

多賀先生、貴重なお話を有難うございました。当美術館に遊びに来る中学生や小学生にさっそく実行してみます。

塚本幹雄

多賀先生、本日は大変興味深く楽しい卓話をしていただきまして、有難うございました。今日から、もっと「ありがとう」を発するようになりたいと思います。今後、多賀先生の益々のご活躍をお祈りします。昨日、団十郎丈の葬儀に出席してきました。団十郎丈の人間としての偉大さをあらためて感じる事が出来ました。

★ 第1回予定者理事会・第1回地区大会実行委員会



〈日時〉 2月7日(木)
18:30~

〈場所〉 小六庵

2月誕生祝

17日 湯浅外志男会員 21日 小林 幹雄会員 28日 北村 茂会員
19日 湯浅 幹也会員 25日 丸山 宣伸会員

★ 2月誕生祝い



ニコニコBOXの年間達成目標 2,000,000円! ニコニコBOX 2月末の累計金額 1,025,050円!